



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月29日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青木 経一郎 (TEL) 03(3899)2101
 定時株主総会開催予定日 2020年6月30日 配当支払開始予定日 2020年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,878	0.5	1,037	△20.1	1,075	△18.5	734	△15.6
2019年3月期	10,826	3.8	1,299	4.0	1,319	4.0	870	0.9
(注) 包括利益	2020年3月期		728百万円 (△14.6%)		2019年3月期		852百万円 (△6.2%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2020年3月期	224.88	—	5.8	6.3	9.5	
2019年3月期	263.58	—	7.2	8.0	12.0	
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期		—百万円	2019年3月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2020年3月期	17,408	13,033	73.7	3,933.55		
2019年3月期	16,814	12,643	74.0	3,769.15		
(参考) 自己資本	2020年3月期		12,834百万円	2019年3月期		12,448百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,462	△1,379	△882	7,397
2019年3月期	1,870	△754	△676	8,196

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	198	22.8	1.6
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	163	22.2	1.3
2021年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		18.6	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	1.6	670	1.2	690	2.0	440	0.4	128.65
通期	11,200	3.0	1,290	24.3	1,330	23.7	880	19.8	257.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	3,420,000株	2019年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	157,276株	2019年3月期	117,220株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	3,262,724株	2019年3月期	3,302,780株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,316	△0.0	809	△23.9	989	△19.4	681	△16.4
2019年3月期	9,321	3.1	1,063	5.9	1,228	5.3	815	2.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	208.51	—
2019年3月期	246.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年3月期	15,877		11,633		73.3	3,565.50		
2019年3月期	15,210		11,318		74.4	3,426.84		

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,633百万円 2019年3月期 11,318百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	1.5	625	0.3	410	0.4	119.88
通期	9,600	3.0	1,210	22.2	810	18.9	236.84

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、比較的堅調な企業業績や雇用環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしその一方で、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速及び英国EU離脱問題等の不確実な海外経済の動向に加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大による経済や市民生活に与える影響は不可避となり、景気の先行きは予断を許さない状況となっております。

このような環境のもと当社グループは、医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高は10,878百万円（前期比0.5%増）、連結営業利益は1,037百万円（前期比20.1%減）、連結経常利益は1,075百万円（前期比18.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、734百万円（前期比15.6%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、医療機関数の減少、グループ病院の台頭、医療用炭酸ガス需要増加、療養型医療機関の医療区分変更による酸素使用量の減少、日帰り手術の増加等、処置や手術の技術進歩により術後のリカバリー時に使用する酸素等は減少となりました。公道価格が実質上の収益メリットとなりにくい環境のもと、配送コスト、原価を意識した製品価格の見直し、また医療用酸素ガス充填時にかかる電気料金の割引率の見直しを行うなど、ランニングコスト全般の見直しによる経費の効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は3,347百万円（前期比0.5%減）、セグメント利益は193百万円（前期比48.9%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズに対応すると共に、学会や病院内でのPR活動を通じ、きめの細かい営業活動を継続いたしました。「HOT」在宅酸素療法は微増となりましたが、「CPAP」持続陽圧呼吸療法と人工呼吸器においては、好調に推移いたしました。

また、次世代ヘルスケアとして国が掲げる「一気通貫で完結できる在宅医療実現」には情報通信機器を用いたさまざまな医療サービスが期待されています。そのような中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は4,551百万円（前期比3.2%増）、セグメント利益は578百万円（前期比10.9%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事におきましては、建設資材の高騰と人手不足による諸費用の上昇等により、新規・増築計画の延期、凍結に加え競合他社との競争激化等の要因により、大型物件の完成件数も少なく低調に推移いたしました。消火設備工事におきましては、消費税の関係から補助金交付が例年より遅かったため受注件数が減り年度末の完成物件も例年に比べ3割程度となりました。

これらの結果、売上高は1,100百万円（前期比20.2%減）、セグメント利益は146百万円（前期比4.5%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、商品ラインナップの拡充を図り、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者、医療・福祉系レンタル事業者への継続的な営業強化に努めたことなどから、介護福祉関連商品のレンタル及び販売は堅調に推移いたしました。

また訪問看護事業所は、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実が奏功し、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は716百万円（前期比5.2%増）、セグメント利益は36百万円（前期比49.8%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師在駐、地元医療機関との連携、イベントの開催や地元住民の方々との交流を通じて付加価値サービスの提供と、人材育成の体制をさらに強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、入居者様、ご家族様へ「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）「あしつよ巢鴨」（東京都豊島区）「あしつよ王子」（東京都北区）は、今後の高齢者人口の増大を視野に、地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は335百万円（前期比3.9%増）、セグメント利益は2百万円（前期セグメント損失24百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は17,408百万円（前連結会計年度末比594百万円増）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が69百万円、有形固定資産が1,367百万円、繰延税金資産が79百万円増加し、現金及び預金が998百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は4,375百万円（前連結会計年度末比205百万円増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が85百万円減少し、役員退職慰労引当金が275百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は13,033百万円（前連結会計年度末比389百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が554百万円増加し、自己株式が158百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度において、現金及び現金同等物は798百万円減少し、当連結会計年度末残高は、7,397百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、営業活動により得られた資金は1,462百万円（前期比407百万円減）となりました。

これは、税金等調整前当期純利益が1,051百万円となり、減価償却費682百万円、法人税等の支払額398百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、投資活動により使用した資金は1,379百万円（前期比624百万円使用増）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出1,505百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、財務活動により使用した資金は882百万円（前期比206百万円使用増）となりました。

これは、リース債務の返済による支出543百万円及び配当金の支払額181百万円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の急速な世界的拡大の影響により、足元で大幅に下押しされており、世界的同時株安の発生や外出規制実施による経済活動停滞の影響が懸念されるなど厳しい状況にあります。先行きにつきましては、感染症の終息時期の見通しが立たず、厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある状況となっております。医療・介護・福祉業界におきましても新型コロナウイルス感染症により医療機関・施設のそれぞれの役割にさまざまな変化が訪れることが予想されます。また医師・看護師のあらゆる負担（機能改善・時間短縮・オンライン化）が減らせるサービスが求められます。

このような事業環境のなかで当社グループは、これからのニーズをお客様から学び、それにお応えするための企業努力と24時間サービス体制を持続できる人材育成と労働環境の整備に注力してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高11,200百万円（前期比3.0%増）、営業利益1,290百万円（前期比24.3%増）、経常利益1,330百万円（前期比23.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益880百万円（前期比19.8%増）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループが営む事業は、現時点において国内取引に限定されており海外での事業活動がないことから、当面は日本基準を継続して採用する予定であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	7,437,834
受取手形及び売掛金	2,233,299	2,302,568
商品及び製品	55,381	46,067
未成工事支出金	11,896	22,477
原材料及び貯蔵品	28,969	41,738
その他	78,988	92,363
貸倒引当金	△4,762	△4,985
流動資産合計	10,840,156	9,938,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,590,468	2,008,508
減価償却累計額	△917,976	△931,783
建物及び構築物(純額)	672,491	1,076,725
機械装置及び運搬具	459,573	446,768
減価償却累計額	△386,056	△394,832
機械装置及び運搬具(純額)	73,517	51,935
工具、器具及び備品	2,484,411	2,517,082
減価償却累計額	△2,111,959	△2,193,690
工具、器具及び備品(純額)	372,451	323,391
土地	2,370,654	3,323,904
リース資産	1,699,738	1,599,031
減価償却累計額	△923,013	△745,715
リース資産(純額)	776,725	853,316
建設仮勘定	2,494	6,544
有形固定資産合計	4,268,334	5,635,816
無形固定資産		
ソフトウェア	7,824	7,367
電話加入権	9,091	9,091
その他	—	322
無形固定資産合計	16,915	16,781
投資その他の資産		
投資有価証券	886,100	862,421
長期貸付金	5,920	640
長期前払費用	1,546	1,193
退職給付に係る資産	199,190	243,312
繰延税金資産	144,871	224,002
その他	457,987	488,366
貸倒引当金	△6,786	△1,781
投資その他の資産合計	1,688,829	1,818,155
固定資産合計	5,974,080	7,470,754
資産合計	16,814,236	17,408,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,822,412
リース債務	439,603	493,932
未払法人税等	221,763	200,213
賞与引当金	111,400	115,836
その他	541,602	521,696
流動負債合計	3,221,813	3,154,090
固定負債		
繰延税金負債	6,673	11,538
リース債務	405,279	439,768
役員退職慰労引当金	461,610	737,580
長期預り保証金	—	5,203
その他	75,122	27,496
固定負債合計	948,686	1,221,586
負債合計	4,170,499	4,375,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	12,048,418
自己株式	△201,450	△359,474
株主資本合計	12,242,653	12,638,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	148,755
退職給付に係る調整累計額	24,749	46,506
その他の包括利益累計額合計	206,017	195,261
非支配株主持分	195,066	199,047
純資産合計	12,643,737	13,033,140
負債純資産合計	16,814,236	17,408,817

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,826,673	10,878,661
売上原価	5,447,901	5,344,065
売上総利益	5,378,772	5,534,596
販売費及び一般管理費		
販売手数料	34,457	32,759
旅費及び交通費	395,709	393,814
役員報酬	265,290	273,960
給料	1,739,259	1,854,182
福利厚生費	320,098	339,882
賞与引当金繰入額	101,157	96,406
退職給付費用	83,524	76,481
役員退職慰労引当金繰入額	17,400	275,970
減価償却費	162,002	150,293
その他	960,774	1,003,225
販売費及び一般管理費合計	4,079,674	4,496,974
営業利益	1,299,097	1,037,622
営業外収益		
受取利息	2,848	2,798
受取配当金	14,579	17,538
受取家賃	288	9,423
受取保険金	2,273	14,966
仕入割引	4,943	3,729
雑収入	4,091	3,233
営業外収益合計	29,026	51,689
営業外費用		
支払利息	8,282	8,824
災害による損失	—	3,864
雑損失	—	1,375
営業外費用合計	8,282	14,064
経常利益	1,319,840	1,075,247
特別利益		
固定資産売却益	1,036	—
資産除去債務戻入益	—	18,704
雑収益	—	374
特別利益合計	1,036	19,078
特別損失		
固定資産売却損	—	421
固定資産除却損	233	32,954
ゴルフ会員権評価損	—	9,550
減損損失	58,778	—
特別損失合計	59,012	42,925
税金等調整前当期純利益	1,261,865	1,051,399
法人税、住民税及び事業税	396,910	380,337
法人税等調整額	△12,133	△69,290
法人税等合計	384,777	311,047
当期純利益	877,087	740,352
非支配株主に帰属する当期純利益	6,516	5,497
親会社株主に帰属する当期純利益	870,571	734,855

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	877,087	740,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,084	△34,093
退職給付に係る調整額	19,680	21,821
その他の包括利益合計	△24,403	△12,272
包括利益	852,683	728,080
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	849,295	724,099
非支配株主に係る包括利益	3,388	3,981

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	436,180	513,708	11,100,549	△513,025	11,537,412
当期変動額					
剰余金の配当			△165,141		△165,141
親会社株主に帰属する当期純利益			870,571		870,571
自己株式の取得				△189	△189
自己株式の消却			△311,764	311,764	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	393,665	311,575	705,241
当期末残高	436,180	513,708	11,494,215	△201,450	12,242,653

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	221,684	5,610	227,294	191,677	11,956,383
当期変動額					
剰余金の配当					△165,141
親会社株主に帰属する当期純利益					870,571
自己株式の取得					△189
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40,416	19,139	△21,277	3,389	△17,888
当期変動額合計	△40,416	19,139	△21,277	3,389	687,353
当期末残高	181,268	24,749	206,017	195,066	12,643,737

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	436,180	513,708	11,494,215	△201,450	12,242,653
当期変動額					
剰余金の配当			△180,652		△180,652
親会社株主に帰属する当期純利益			734,855		734,855
自己株式の取得				△158,024	△158,024
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	554,202	△158,024	396,178
当期末残高	436,180	513,708	12,048,418	△359,474	12,638,831

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	181,268	24,749	206,017	195,066	12,643,737
当期変動額					
剰余金の配当					△180,652
親会社株主に帰属する当期純利益					734,855
自己株式の取得					△158,024
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△32,513	21,757	△10,756	3,981	△6,774
当期変動額合計	△32,513	21,757	△10,756	3,981	389,404
当期末残高	148,755	46,506	195,261	199,047	13,033,140

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,261,865	1,051,399
減価償却費	649,905	682,995
減損損失	58,778	9,550
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,560	275,970
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,232	△4,782
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,400	4,436
受取利息及び受取配当金	△17,428	△20,337
支払利息	8,282	8,824
有形固定資産除売却損益(△は益)	△803	33,375
売上債権の増減額(△は増加)	269,928	△65,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,996	△14,036
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,631	△85,775
その他	101,031	△26,033
小計	2,260,003	1,849,670
利息及び配当金の受取額	17,536	20,452
利息の支払額	△8,282	△8,824
法人税等の支払額	△398,825	△398,320
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,870,431	1,462,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△320,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	120,000	320,000
有形固定資産の取得による支出	△507,287	△1,505,508
有形固定資産の売却による収入	2,091	3,287
有形固定資産の除却による支出	—	△14,000
無形固定資産の取得による支出	△5,642	△2,332
投資有価証券の取得による支出	△24,506	△26,021
関係会社株式の取得による支出	—	△35,700
出資金の払込による支出	—	△17,050
長期貸付金の貸付による支出	△16	—
長期貸付金の回収による収入	5,495	5,481
会員権の売却による収入	—	350
その他の支出	△27,115	△19,717
その他の収入	2,512	31,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△754,469	△1,379,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△511,223	△543,142
自己株式の売却による収入	△189	—
自己株式の取得による支出	—	△158,024
配当金の支払額	△164,669	△181,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△676,082	△882,250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	439,880	△798,549
現金及び現金同等物の期首残高	7,756,503	8,196,383
現金及び現金同等物の期末残高	8,196,383	7,397,834

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「販売費及び一般管理費」の「貸倒引当金繰入額」は、販売費及び一般管理費の総額の100分の10以下で、かつ、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

(会計上の見積りの変更)

当社は、当連結会計年度において昨今の経済情勢等を踏まえ、役員退職慰労金規程の見直しを行いました。この結果、当連結会計年度の営業利益及び経常利益が、268,290千円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 各報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「医療用ガス関連事業」、「在宅医療関連事業」、「医療用ガス設備工事関連事業」、「介護福祉関連事業」、「施設介護関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「医療用ガス関連事業」は、医療用酸素ガス、麻酔用ガス及びその他医療用ガス全般の販売をしております。

「在宅医療関連事業」は、在宅酸素療法用酸素濃縮器、持続陽圧呼吸療法用機器、在宅人工呼吸器等のレンタル及び販売を行っております。

「医療用ガス設備工事関連事業」は、医療用ガス配管工事の設計・施工及び医療用ガス配管設備保守点検等を行っております。

「介護福祉関連事業」は、介護福祉関連用品、機器等のレンタル、販売及び住宅改修、訪問看護・居宅介護支援事業所の運営及びそれに付帯する事業を行っております。

「施設介護関連事業」は、有料老人ホーム、通所介護施設の運営及びそれに付帯する業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,363,092	4,410,825	1,378,427	681,415	322,587	10,156,347	670,325	10,826,673
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	93,057	—	—	93,057	—	93,057
計	3,363,092	4,410,825	1,471,484	681,415	322,587	10,249,404	670,325	10,919,730
セグメント利益 又は損失(△)	378,754	649,046	140,106	71,935	△24,169	1,215,673	83,424	1,299,097
セグメント資産	1,331,079	1,708,438	208,808	258,566	11,771	3,518,664	49,466	3,568,130
その他の項目								
減価償却費	121,321	466,148	2,442	14,757	6,684	611,353	509	611,862
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	258,977	713,856	29,347	15,171	—	1,017,352	6,117	1,023,470

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,347,382	4,551,174	1,100,461	716,514	335,279	10,050,812	827,849	10,878,661
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	89,615	—	—	89,615	—	89,615
計	3,347,382	4,551,174	1,190,076	716,514	335,279	10,140,427	827,849	10,968,276
セグメント利益 又は損失(△)	193,375	578,603	146,387	36,096	2,981	957,444	80,177	1,037,622
セグメント資産	783,874	1,279,468	106,076	188,442	1,272,184	3,630,045	27,219	3,657,265
その他の項目								
減価償却費	113,284	499,331	2,166	11,620	14,985	641,388	399	641,788
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	64,958	579,358	570	325	1,281,250	1,926,462	105	1,926,567

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,249,404	10,140,427
「その他事業」の区分の売上高	670,325	827,849
セグメント間取引消去	△93,057	△89,615
連結財務諸表の売上高	10,826,673	10,878,661

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,215,673	957,444
「その他事業」の区分の利益	83,424	80,177
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	1,299,097	1,037,622

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,518,664	3,630,045
「その他事業」の区分の資産	49,466	27,219
全社資産(注)	13,246,106	13,751,552
連結財務諸表の資産合計	16,814,236	17,408,817

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、売上債権、土地建物等であります。

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他事業	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	611,353	509	38,042	649,905
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,017,352	6,117	12,466	1,035,936

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社建物等の設備投資額であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他事業	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	641,388	399	41,207	682,995
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,926,462	105	148,949	2,075,517

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社建物等の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,769円15銭	3,933円55銭
1株当たり当期純利益金額	263円58銭	224円88銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	870,571	734,855
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	870,571	734,855
普通株式の期中平均株式数(株)	3,302,815	3,267,791

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,643,737	13,033,140
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	195,066	199,047
(うち非支配株主持分)	(195,066)	(199,047)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,448,671	12,834,092
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,302,780	3,262,724

(重要な後発事象)

該当事項はありません。